

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

計画の名称	南千里駅周辺地区（第2期）都市再生整備計画												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	吹田市												
計画の目標	<p>大目標：「魅力あふれるにぎわいのあるまち」の再整備</p> <p>目標1：交通利便性の向上：府道豊中摂津線のバス停のバスペイ化による交通環境の改善や、駅とバス停を結ぶ歩行者導線のバリアフリー化等により交通結節点としての機能の充実を図る。</p> <p>目標2：地域コミュニティの形成：千里ニュータウンも開発後、約50年が経過し、住民意識が変化する中で、若者から高齢者までの多様な世代が協働・交流し活気あるまちづくりを一層すすめるための場所や機会を提供し、市民相互の交流の向上に努める。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	880	A	880	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26当初		H31末
1	公共広場南側の府道にはバス停が2か所あり、バス停車時に2車線道路のうち1車線を遮断することから、バスペイ化により一方通行車両の車線を確保し、渋滞長を420m（H26）から260m（H31）に減少。 府道豊中摂津線東行き道路の朝ラッシュ時の渋滞長	420m	m	260m
2	公共広場の整備については、多様な人々が協働し交流できるコミュニティ空間の創出につながるもので、地域のための行事・催し物ができるように活動促進を図り、その回数を1回/年（H26）から3回/年（H31）に増加。 公共広場の整備や、1期計画での整備も含めた中で地区内における地域のための行事・催し物の回数	1回/年	回/年	3回/年

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		種別	種別	対象	間接							H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	吹田市	直接	吹田市	—	—	南千里駅周辺地区(第2期)	区域面積 A=410.2ha	吹田市	■	■	■	■	■	880		—	
												小計						880		
											合計						880			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	
配分額 (a)	29	27	38	106	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	29	27	38	106	
前年度からの繰越額 (d)	0	17	16	0	
支払済額 (e)	12	28	54	106	
翌年度繰越額 (f)	17	16	0	0	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

南千里駅周辺地区(第2期)(大阪府吹田市) 整備方針概要図

目標	「魅力あふれるにぎわいのあるまち」の再整備 ・交通利便性の向上 ・地域コミュニティの形成	代表的な 指標	交通利便性の向上 (m)	420m (26年度) → 260m (31年度)
			地域コミュニティの形成 (回/年)	1回/年 (26年度) → 3回/年 (31年度)

